

オバマ大統領、非在来型天然ガスの開発促進支援に関する大統領令を発令（4月13日）

オバマ大統領は4月13日、国内産非在来型天然ガスの安全かつ責任ある開発推進のため、省庁横断型作業部会の創設を命じる大統領令を発令した。

同大統領令には、天然ガスは、①雇用創出とともに経済効果が大きいこと、②輸入石油への依存の低減に貢献すること、③化石燃料と比較して炭素排出量の少ないクリーンなエネルギー源であることの3点から、同資源を最大限に活用することが極めて重要で、このためには、省庁間の緊密な連携が不可欠であるとしている。

大統領令によって設立が命じられた省庁横断型作業部会は、国内政策会議（Domestic Policy Council:DPC）議長を部会長とし、国防総省（Department of Defense）やエネルギー省（Department of Energy）、環境保護庁（Environmental Protection Agency : EPA）などを含む関係13省庁から構成され、長期計画の策定や、省庁間の政策調整及び情報共有、各連邦政府機関における研究調査などの調整、関係者との意見交換などの役割を担うこととされている。

The White House, Executive Order -- Supporting Safe and Responsible Development of Uncon-ventional Domestic Natural Gas Resources

www.whitehouse.gov/the-press-office/2012/04/13/executive-order-supporting-safe-and-responsible-development-unconvention